Ocean Currents

Roberto de la Torre / ロベルト・デ・ラ・トーレ
Sanghee SONG / ソン・サンヒ
Rikiya IWAKUMA / 岩熊 力也
Seiko YAMAMOTO [Curation] / 山本 聖子[キュレーション]

【瑞雲庵】 11月12日(土)−12月11日(日) 12:00〜19:00
土曜・日曜・11月23日(水曜・祝)のみ開場・入場無料
［ Zuiun-an ］ 2016.11.12-12.11 12:00 ~ 19:00 *Open on Saturdays, Sundays and November 23 only. / Admission Free

【Gallery PARC】 11月19日(土)−12月4日(日) 11:00〜19:00
月曜休／金曜のみ20:00まで・入場無料
［Gallery PARC］ 2016.11.19-12.4 11:00 ~ 19:00 *Closed on Mondays / Open until 20:00 on Fridays / Admission Free

美術家・山本聖子の企画による、「Ocean Currents = 海流」をテーマとした展覧会を、京都市北区の町屋・瑞雲庵と、Gallery PARCの2会場で同時期開催いたします。
本展は、美術家として活動する山本が国内外で出会った作家たちが、異なる国々(メキシコ・韓国・日本)から京都に集まり、各々の視点から現在の日本を見つめ、同時代を生きるものとして何を思うのかを探る試みです。
彼らが1年間続けてきたオンライン書簡は、様々な文脈からの「今の日本」のイメージをうっすらと浮かび上がらせ、世界が多層的であることを物語っています。

ロベルト・デ・ラ・トーレはメキシコの実験的パフォーマンスグループ“19 Concreto”の一員として活動した後、個人でも身体とそれを取り巻く社会との関係性を軸に多様な作品を発表してきました。ポリティカルともとれるテーマを扱い、強い怒りを含みながらも、人々をその先へと解放するような独自のユーモアを含む、鮮やかであっけらかんとした姿勢には、メキシコの歴史や文化の影響がみてとれるようです。

韓国に生まれ、現在はオランダを拠点とする**ソン・サンヒ**は、自身が韓国人や女性であることを強く意識してきました。しかし「制作は世界を思いやること」だと明言する彼女の目線は、内側からだけではなく、度々日本に訪れてプロジェクトを行うなど、外側からの視線を取り込むことも常に意識されています。これは自らの目で世界に起きている事実をどちらか一方に偏ることなく、深く確かめようとするソン自身の覚悟のようにも思われます。

現在長野県を拠点にする**岩熊力也**は、長年、絵画を描く傍ら東京で遺跡の発掘にも携わってきました。日々黙々と地を掘る作業は、高層ビルのそびえ立つ都市とは全く別種の時間体験となって彼の創作に影響を与えています。作品にはしばしば日本古来の神話や歴史的事件・出来事といったモチーフが層のように重ねられ「日本人とは何か」という問いに目を向け続ける作家の想いを見てとることができます。

各国を移動し精力的に活動する彼らは、共通して、個人のルーツだけでなく、彼らが背景として抱えている、国や社会、歴史といった大きな流れに対して、自覚的・批評的な視線を向け続けていると言えます。本展は、人々を運んで来た「何か大きな力」について考えさせるとともに、私たち自身が乗っている「海流」とはどのようなものか、そしてその向かう先について、ともに想像する時間を与えてくれることでしょう。

同時開催展情報
瑞雲庵 Zuiun-an
〒603-8074 京都市北区上賀茂南大路町62−1 62-1, Kamigamo Minamioji-cho, Kita-ku, Kyoto

瑞雲庵での関連イベント
キュレーター・トーク 11月23日(水・祝) 15:00〜16:00
Curator's Talk Event 11/23 [Wed] 15:00 ~ 16:00
クロージング・イベント 12月11日(日) 17:00〜
Closing Event 12/11 [Sun] 17:00 ~

Ocean Currents 1

岩熊 力也
Rikiya IWAKUMA

Our horizon

2016
畳、瓶、水、靴、教科書、アクリル、ポリエステル

むき出しのコンクリート空間で黄昏る畳。これらの畳は同時開催中の瑞雲庵から持ち込まれたものである。瑞雲庵の展示では単管パイプで組まれた4m級の絵画二枚が狭い町屋の空間に暴力的にねじ込まれている。畳はその際に取り払われたものだ。
小島信夫の小説「アメリカンスクール」は占領下の日本を舞台に日本人英語教師たちの卑屈で滑稽な姿を描いたものだが、主人公は自分が自分でなくなると頑なに英語を拒むが彼がアメリカから自由になることはない。
私たちが中学から使う英語教科書が「NEW HORIZON」と題されているのは悪い冗談だろうか。それともアメリカの戦略を素直にタイトルにしてしまったのだろうか。
黒船来襲後の欧化政策、そして敗戦後の占領期と何度も私たちのアイデンティティは揺らいだ。そしていままた世界は変動期をむかえている。作品「Our horizon」はあっちに傾きこっちに傾く大地の上で必死にバランスを取って生きる哀しくも滑稽な我々の姿である。

岩熊 力也
1969年東京生まれ、長野県を拠点に活動。1990年日本大学芸術学部映画学科中退。1992年〜1993 年イタリア、フィレンツィエに滞在。1997年Bゼミ修了。2004年(財)ポーラ美術振興財団在外研修生としてメキシコシティ滞在。主な受賞に「VOCA 展2008大原美術館賞」など。
主な個展に2005年〜2015年まで毎年コバヤシ画廊(銀座)での発表のほか、2013年「LAUNDRY」(第一生命ギャラリー)など多数。主なグループ展には、2007年「森」としての絵画(岡崎市美術博物館)、2008年「VOCA 展2008」(上野の森美術館)、2011年「ARTIST FILE 2011」(国立新美術館)、2013年「OHARA CONTEMPORARY」(大原美術館)、「大川美術館の軌跡」(大川美術館・群馬)、2014年「Ohara Contemporary at Musabi」(武蔵野美術大学美術館)、「岩熊力也とゴーストペインターズ"guilt"」(STORE FRONT・東京)、2015年「大原美術館展 名画への旅」(静岡市美術館)など、その他国内外多数。

Ocean Currents 2

ロベルト・デ・ラ・トーレ
Roberto de la Torre

聖火

2016
ミクストメディア

都市の中を駆け回る妖精のような若者たちは、一見陽気ではあるが、彼らが身に纏うものは、まさに今の日本社会にとって不可避な問題を示している。
彼らが具体的な結末やメッセージを指し示さないことで、雲のように延々と、社会の中間もしくは隙間を漂い続ける決して消されない強い存在となっている。

ロベルト・デ・ラ・トーレ
1967年メキシコ生まれ、メキシコシティ在住。国立芸術大学ラ・エスメラルダ教授。
1990-1996年 実験的グループ"19 Concreto(ディエシヌエベ・コンクレト)"の創始者であり、そのメンバーであった。グループ解散後、個人の活動としてこれまで、ドイツ、ボリビア、カナダ、中国、チリ、コロンビア、スペイン、アメリカ、フィンランド、日本、インド、イギリス、メキシコ、ポーランド、ポルトガル、ドミニカ共和国、ロシアなど多数の国際芸術祭やAIR に参加し、多数の展覧会を開催。
その経歴により様々な賞やサポート、奨学金を獲得し現在も国からの援助を受けている。

Ocean Currents 3-1

ソン・サンヒ
Sanghee SONG

Mohang

2008
single-channel video installation 19min

"Mohang" is based on the massive oil spill of Samsung Heavy Industries in December 2007 in South Korea. Mohang, a small port located in Sowon-Myeon, Taean –gun, in South Korea, is the one of most seriously damaged regions from the accident. As shooting along the seaway from Uihang to Mohang in the perspective of fish, I would ask what they are seeing under the sea.

「Mohang(茅項港)」は韓国で2007年12月に起きたサムスン重工業の原油流出事故に基づいた作品である。Mohang(モハン)港はこの事故で最も深刻な被害を受けた地域の一つである韓国の テアン郡ソウォンミョンに位置する小さな港である。ウイハンからモハンへの海路を魚の視線から撮影することによって、彼らが見ているものを問うことを試みる。

Ocean Currents 3-2

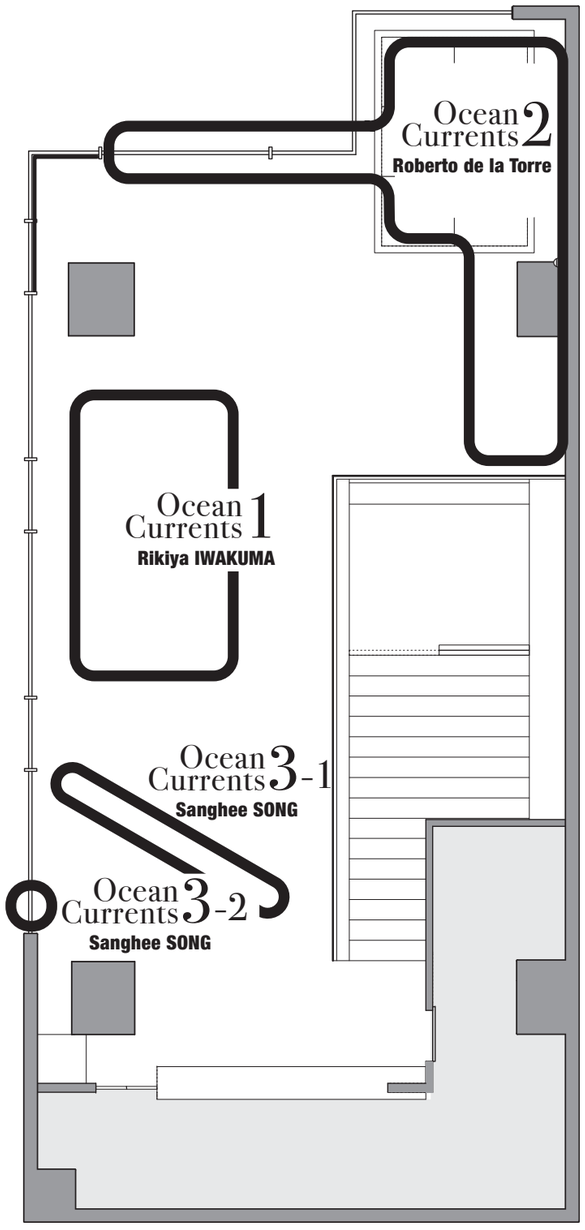
The 16th Book of Metamorphoses The love story of Khora, Plesiosaurus & Leviathan

2008
Pencil drawing animation_ HD 14min

ローマの詩人・オウィディウスによる全15巻からなる物語詩「メタモルフォセス(変身物語)」をタイトルに、その「16巻」と付けられたアニメーション作品。
【瑞雲庵】では本作品を大画面で展示しております。

ソン・サンヒ
1970年韓国ソウル市生まれ、2006-2007年ライクスアカデミー在籍。
現在オランダ、アムステルダム在住。
2003年に札幌アーティストインレジデンスS-AIR、2010年に国際芸術センター青森秋AIRに参加。2015年春には沖縄にて、日本、韓国、フィリピンの歴史的関係を題材にプロジェクトを実施するなど日本との深い関係がある。主な個展として2015年にアムステルダムのギャラリーVan Zijl Hourt、2014年中国の重慶アートセンター、2012年韓国のBehive アートセンター、2016 年あいちトリエンナーレ参加など世界で注目される作家である。

Ocean Currents Curator of tihis exhibition

山本 聖子[キュレーション]
Seiko YAMAMOTO

山本 聖子
1981年生まれ。大阪府在住。2006年京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻修了。
2015年に韓国の芸術祭DMZ Pilgrimage、2014年にオランダ、ドルトレヒトのDordtYartにてレジデンス。2013年にポーラ美術振興財団在外研修員としてメキシコシティに1年間滞在、2010年国際芸術センター青森秋AIRなど国内外で活動。
主な個展に、2016年「色を漕ぐ-swimming in colors」(Gallery PARC・京都)、2015年「白い暴力」(メキシコシティ)、「白い暴力と極彩色の闇」(Gallery PARC・京都)など。主なグループ展に、2016年「AssembridgeNAGOYA『パノラマ庭園-動的生態系にしるす』」(Mat-Nagoya/愛知)、2012年「日常の冒険」(札幌地下ギャラリー500m美術館)、2011年「VOCA 展2011」(上野の森美術館)など。主な受賞に、2011年「Tokyo Midtown Award」グランプリ、「ROKKO MEETS ART 公募大賞」など。